

小国高校

vol 142

2011.9

ジャーナル

地域文化学 特集 その2

1年生が「総合的な学習の時間」に取り組んでいる地域文化学。各班の活動内容を紹介しています。

4 班

地域文化学4班は、東北公益文科大学公益学部呉尚浩先生よりご指導いただき、小国の魅力を発信する情報誌「Oguu」（オグー）第4号の発刊に向けて準備を進めています。旧小玉川小中学校に福島から避難されている方々や芸術活動をしている「Studio こぐま」さんの取材、そして「ばた屋」さんで「たもぎっちょ」の取材などを進めてきました。7月23日の本校の学校祭では雑穀おにぎりや雑穀ホットケーキの販売も行いました。これらをまとめた記事を「Oguu」に掲載しますのでご期待下さい。



2 班

2班では、山形大学工学部大学院 理工学研究科 皆川雅朋先生よりご指導をいただき、農業廃棄物である“もみ殻”を利用し、井戸水のヒ素などの有害な物質を取り除いて飲料水として使えるための研究をしています。実験を多く取り入れ、生徒自身が主体的に楽しく取り組めるように活動しています。地域のみならず、世界にも発信できる様な研究・発表にしていきたいと思ひます。



7 班

7班では、三友堂病院看護専門学校 遠藤美穂子先生からライフライン、ライフプラン（価値観に基づいた生き方、将来の目標を実現するためのこと）について話をしていただき、自分の生涯生活設計について考えてみました。その結果、福祉や看護の大切さを知り、「小国町の医療と福祉の現状と課題」をテーマとして設定し、調査を進めることにしました。これからは、テーマに沿って小国町の現状と課題について調査していく予定です。